

科目コード/科目名 (Course Code / Course Title)	DE443/視覚文化論 (Visual Culture Studies)		
テーマ/サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	マイノリティとアメリカ視覚文化		
担当者名 (Instructor)	江崎 聡子(EZAKI SATOKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMS3110	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

#### 授業の目標(Course Objectives)

受講生がアメリカの視覚文化に見られるマイノリティのイメージについて客観的に分析し、そういったイメージがなぜ、どのように形成されてきたのかを考察し、またマイノリティによる自己イメージがメディアにあふれる「一般的」なイメージとどのように異なるのか、その相違が認識できるようになることが目標である。

Through readings, discussions, and writings in class, students should be able to analyze images of minority groups, examine how these images are produced, and recognize differences between their stereotyped visual representation and more realistic images created by minorities themselves.

#### 授業の内容(Course Contents)

この講義では、アメリカの主流の視覚文化において、マイノリティとされる人々や集団がどのようにイメージ化されてきたかを分析する。さらに、1960年代以降、マイノリティとされる人々が、主流の文化によって与えられた記号的なイメージに対抗して、どのような自己イメージを形成し、どのようにして社会や文化に発信してきたかについて考察する。広告、ニュース映像、映画、視覚芸術、ミュージックビデオといった視覚文化の多様な領域における事例を具体的に検討する。

This course examines visual representation of minority groups in modern and postmodern American visual culture. Moreover, we will look into self-representation of minorities since the 1960s, when ethnic minorities and gender minority initiated fight against white, male-oriented values and the dominant culture, to express their reality in various media. By focusing on their images in advertisements, news media, films, visual arts, or music videos, we will consider issues of representation of the other.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. シラバスの内容の確認と授業のイントロダクション
2. 女性とそのイメージ(1)(概論)
3. 女性とそのイメージ(2)(作品分析)
4. 女性とそのイメージ(3)(ディスカッションおよびライティング)
5. 黒人とそのイメージ(1)(概論)
6. 黒人とそのイメージ(2)(作品分析)
7. 黒人とそのイメージ(3)(ディスカッションおよびライティング)
8. 先住民族とそのイメージ(1)(概論)
9. 先住民族とそのイメージ(2)(作品分析)
10. 先住民族とそのイメージ(3)(ディスカッションおよびライティング)
11. 日本人とそのイメージ(1)(概論)
12. 日本人とそのイメージ(2)(作品分析)
13. 日本人とそのイメージ(3)(ディスカッションおよびライティング)
14. 総括

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

予習として各回で取り上げられるトピックの関連文献を読み、あるいは作品を鑑賞することを要求する。復習としては講義時に取り上げられたトピックや専門用語の内容を整理し、ディスカッションの内容をふまえて、自分なりの見解や議論を300字程度で書くことを勧める。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(60%) / ライティング(30%) / ディスカッションへの貢献(10%)

#### テキスト(Textbooks)

なし

#### 参考文献(Readings)

1. Shawn Michelle Smith. 1999. *American Archives: Gender, Race, and Class in Visual Culture*. Princeton University Press
2. Amelia Johnes. 2010. *The Feminism and Visual Culture Reader*. Routledge
3. Patricia A. Turner. 2002. *Ceramic Uncles and Celluloid Mammies: Black Images and Their Influence on Culture*. University of Virginia Press
4. Philip J. Deloria. 2004. *Indians in Unexpected Places*. University Press of Kansas
5. William M. O'Barr. 1994. *Culture and the Ad: Exploring Otherness in the World of Advertising*. Westview Press

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

基本的には講義形式であるが、適宜ディスカッションを取り入れる。また各トピックの終わりに、ディスカッションや講義内容などに基づいて、とりあげた作品に関して短い 300 字程度のエッセイを書き、提出してもらおう。詳細は初回授業時に説明する。

注意事項(Notice)